

ケアセンターけやき 吉野多喜子

功 績 新型コロナウイルス感染対策のため、入居利用者さんへの、ご家族の面会制限、通所・訪問サービスの休止、外出レクの中止と、不安な思いや不自由な生活環境となっている中、フロア内で身体を動かしたり笑顔を引き出すレクリエーションを行い、利用者さんに楽しみを提供し、不安の解消に努めてくれている功績。

推 薦 者 入居 主任 河井ともみ

推 薦 理 由 感染症予防に振り回され暗く落ち込みがちだった状況を打破しようと、レクリエーションの内容や時間を工夫することで、楽しみを提供し利用者さんの笑顔を取り戻す事が出来ました。スタッフも連帯感が生まれ、利用者さんの絆も深める事が出来ました。また、ご家族の心配、不安の解消にもつなげられたのは理事長賞に値すると考え推薦いたします。

内 容

令和2年2月に入り、新型コロナウイルス感染拡大が見受けられ、高齢者が感染すると重症化し死亡者も出ていることから、けやきとしても感染を防止するために、入居利用者さんのご家族の面会制限、通所・訪問サービスの休止、外出レクの中止をしています。その為、ご家族が来られ賑やかだったフロアが静かになり、利用者さんも元気がないご様子で、スタッフも感染予防にばかり気を取られ、いつしかフロアの雰囲気も暗くなっていきました。

介護士の吉野は、何とか利用者さんに笑顔で楽しい時間を過ごしてもらいたいと考え、毎日行っている集団体操に、リズムに合わせた数字遊びや歌を取り入れ、さらにその歌に振り付けをしました。また、回数も1日1回だったのを、時間を工夫して午前と午後2回実施する事としました。

これらの吉野による働きかけに、他スタッフも「利用者さんに笑顔になって頂くことが自分たちの仕事だ」と思い直し、全員で取り組みました。すると、初めは歌も体操もバラバラだったのが、回数を重ねることで揃うようになり、利用者さん同士の絆が深まったようで、最近お部屋で過ごすことが多かった利用者さんもリビングへ出て来られるようになりました。

また、その時の利用者さんの様子を写真に撮りメッセージを添えて送付したところ、ご家族からお礼のお電話を頂き、ご家族の不安や心配の解消にも貢献しました。